



応援しました！！

2月17日(火)に、IPCクロスカントリースキーワールドカップ旭川大会の応援に富沢スキーコースに行ってきました。2学期に学習した、「共に生きる」では、足に障がいをもった方と交流しました。そのことを生かし、このワールドカップからも様々なことを学んでほしいと思っていました。子どもたちは、それぞれの選手の国の言葉を調べ、国旗などを作って応援しました。「応援すると、選手が笑ってくれたような気がする。」という声が聞かれました。どこの国の選手か分からないときには、日本語で「がんばれー！」とも叫びました。言葉の壁を越えて、選手に気持ちを届けられたのではないかと思います。感想を紹介します。

<S. H>

今日ぼくは、シットスキーを見てすごいと思いました。足がない選手や足が不自由な選手なのに、腕だけで方向を変えたり、10kmも走ったりしていたので、すごい力だと思いました。そうとう練習を積んでいるのだと思いました。シットスキーは、見ていると簡単そうに見えますが、すごく大変で、坂なども、とても軽々としているように見えますが、すごく大変なのだと思います。

ぼくの応援は、届いたと思いました。応援したとき、笑いながら進んで行った選手がいたので、届いていたのではないかと思います。応援では、色々な応援があって、わけがわからなくなりそうでしたが、できたのでよかったです。色々な障がいを抱えた選手がいて、すごく大変だと思いました。こういう機会はそうないので、とてもいい経験になったと思います。

<M. I>

私は初め、足の不自由な人がどうしてスキーをしているんだろうと思っていました。シットスキーという言葉を知って、「え、シットスキーって何だろう。」と思ったら、シットスキーは、足が不自由な人でもできるスキーだと分かりました。選手の方は、足が不自由でもスキーができて、うれしそうでした。「とてもやりたかったのにできない」のは悲しいことだけど、足が不自由でもできるスキーがあって、選手達は、とても感謝していると思いました。これからもがんばってください。あきらめないで。全国のみんなが応援しています。(以下省略)

<M. I>

私は、初めてスポーツ観戦に行きました。そのスポーツは、シットスキーです。ちょっと寝そうになったのですが、見ていて「腕だけで、このスピードはすごいね〜！」となりました。

私は、スキーは嫌いで苦手なこともあって、見るのは、すごく楽しかったです。15番のオクサナ選手は、すごく速かったです。私が応援していたら、だれがだれだか分からなくなって、総合的に応援していましたが、選手には伝わったと思います。なぜなら、ロシアの選手が、こっちを向いて笑ってくれたからです。障がいをもっているのに、あんなに速くスキーを滑るなんて、私にはとうていできません。私と対決したら、私は絶対負けてしまいます。だからと言って、障がいのある人とない人は、比べちゃだめだと思います。

<S. H>

私は、シットスキーを見て、4つのことを考えました。

1 つ目は、腕の力で走るすばらしさです。普通に見ていると、楽というか、簡単そうに見えることがありました。ですが、坂を下り始めたとき、カーブのネットに引っかからずに滑っていました。どうやっているのかな、と思って見てみたら、腕の力でストックをつんつんしていました。生で見ると、すばらしさを感じました。

2 つ目は、応援をしたときに、自分がうれしいと思ったことです。理由は、一人一人応援する度に、ほとんどの人が笑顔になって、応援するとスピードが速くなって、自分が応援しただけでこんなに違いがあるとは思いませんでした。

3 つ目は、選手達は、自分たちと同じということです。人間は人間だし、足がないだけで生活もしっかりできる。命にも変わりないということ。それを生で見て一番感じました。

4 つ目は、見たときの迫力です。手だけを使って走っているのに、すごくスピードが速くてびっくりしました。

<N. T>

私は、シットスキーを見て楽しかったことと、頑張ったことを書きます。

1 つ目は、応援です。最初応援するときに、まだかなあと楽しみにしていました。シットスキーを本物で見るのは初めてだったので、応援するのが楽しみでした。でも、応援のときにあまり声を出しませんでした。もっと出せば、もっともっと楽しめたと思うので、また今度そういうことがあったら、もっと大きな声を出して選手を応援したいです。

2 つ目は、選手についてです。シットスキーをやっている選手は、坂を上っていました。私は、すごいなあと思いました。もし私がシットスキーをやっていたら、あきらめていると思います。でも、選手はあきらめないで努力をしていると思います。私は選手がすごいと思いました。

全員が、選手からたくさんの「すごい」という気持ちを感じ取っていました。

応援については、Nさんの文の中に成長を感じました。スポーツを見る楽しさの一つに「盛り上がること」があると思います。「次はもっと大きな声で応援したい」という言葉に、それが表れています。これからも、少しでも自分を出していけるよう、支援していきます。

